

ねんりんピック愛顔のえひめ2023における感染症対策について
(令和5年5月31日現在)

※大会開催時期の感染状況に応じて、大会関係者に対してより強い感染対策を求めることがあります。

1 大会関係者への協力依頼事項

(1) 手指衛生対策の励行

会場の手洗い場に用意する液体せっけん等により、こまめな手洗いを実施する。
手洗いができない場合は、会場の各所に設置する手指用消毒液により、こまめな手指消毒を実施する。

(2) 場面に応じたマスク着用への協力や咳エチケットの実施

大会期間中のマスク着用は個人の判断に委ねるが、重症化リスクの高い高齢者を中心とした大会であり、基礎疾患を有する参加者もいることを踏まえ、次のような場面でのマスクの着用について可能な限り協力するとともに、咳・くしゃみをする際にハンカチやティッシュ、上着の袖で口や鼻を押さえるなど、咳エチケットを実施する。

- ・混雑した公共交通機関に乗車する場合
- ・屋内施設利用時などにおいて、人と人との距離の確保や十分な換気ができない場合
- ・計画輸送バス利用時において、会話をを行う場合
- ・その他、感染リスクが高いと考えられる場合

(3) 体調管理の徹底

大会前、大会期間中は検温等を行うなど、各自で体調管理に努めるとともに、十分な休養を確保し免疫力を高める、感染リスクの高い行動は避けるなど、大会参加に当たり健康管理を徹底する。

(4) 大会参加判断

大会前、大会期間中に新型コロナウイルス等の感染症に感染し、他者への感染リスクがある場合や、同居家族等が感染し自身も感染の可能性が高い場合、発熱等の症状があるなど体調不良の場合は大会への参加を見送る。

また、新型コロナウイルス感染症の陽性者と感染予防なしで接触するなど、自身に症状はないが感染の可能性がある場合は、国が承認した抗原検査キットを使用し自己検査を行うなど、陰性を確認したうえで来県する。

【体調不良の例】

- ・体温が37.5℃以上ある
- ・咳、喉の痛みなど、風邪の症状
- ・倦怠感（だるさ）
- ・息苦しさ
- ・身体が重い、疲れやすい・味覚や嗅覚の異常
- ・下痢など、腹部の症状

(5) 新型コロナウイルスワクチン接種の推奨

高齢者等重症化リスクの高い方は接種が推奨されていることから、可能な限り接種に努める。

(6) 県・市町実行委員会が求める感染症対策の遵守

その他、各会場で県・市町実行委員会が求める感染症対策に協力する。

2 県・市町実行委員会の対応について

県・市町実行委員会では、総合開・閉会式会場、イベント会場、各交流大会会場において、感染症の防止のため次の対策を講じる。

(1) 3密対策の実施

室内では十分な換気を実施するとともに、人と人との距離を確保する、飛沫感染防止対策を実施するなど、可能な限り3密対策を講じる。

(2) 感染症対策の実施

手洗い場には液体せっけん等を用意するとともに、会場各所に手指消毒液を配置し、大会関係者にこまめな手洗いや手指消毒の励行を呼び掛ける。

また、各会場の状況により、必要に応じて、非接触型体温計・サーモグラフィ一等を設置し、関係者に検温を呼び掛ける、不特定多数の者が触れる箇所について随時消毒を行うなどの対策を実施する。

(3) 救護所での対応

体調不良者が救護所を利用する場合は、他の傷病者と区分する形で静養させ、症状が軽い場合には帰宅を促し、医療機関等の受診を勧奨するとともに、症状が重篤な場合には救急搬送を要請する。

3 体調不良者の対応

大会期間中に体調不良があり、感染症への感染が疑われる場合は、その時点で大会への参加を取りやめ（または会場内の救護所にて静養し）、各団体の責任者に報告したうえで、症状に応じて帰宅又は医療機関を受診する。

※帰宅時や医療機関受診時はマスク着用等の感染症対策を行う。

4 大会開催可否等の判断について

新たな変異株の出現等により、国の感染症対策方針が大きく見直されることとなった場合は、主催者間で協議の上、大会開催の可否又は追加措置の判断を検討する。